

議会改革調査特別委員会会議録

令和7年1月21日(火)
安平町議会 議員控室

I 協議事項

- 1 開 会
- 2 委員長あいさつ
- 3 事 件
 - (1) 議会懇談会における意見・要望等の対応について
 - (2) 令和7年度の懇談会に向けた改善点について
- 4 閉 会

2 出席委員(9名)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
委員長	梅 森 敬 仁	委 員	工 藤 秀 一
委 員	米 川 恵美子	委 員	小笠原 直 治
委 員	鳥 越 真由美	委 員	三 浦 恵美子
委 員	箱 崎 英 輔	委 員	高 山 正 人
委 員	高 山 正 人		

欠席委員：田 村 興 文

3 委員外出席議員

職 名	氏 名
議 長	多 田 政 拓

4 議会事務局出席者

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	木 林 一 雄	課長補佐	石 塚 一 哉

会 議 の 顛 末

[開会 午後9時52分]

1 開 会

2 委員長あいさつ

- （梅森委員長） それでは皆さんおはようございます。只今から第12回議会改革調査特別委員会を実施したいと思います。
最初に委員長あいさつとありますが、本日は寒い中お集まりいただき誠にありがとうございます。先日行われた議会懇談会の反省なども兼ねながら確認をしていきたいと思っています。

3 事 件

- （梅森委員長） 3の事件に入っていきますが、最初に議会懇談会における意見要望等の対応についてどうするかということで、資料については皆さん既にお手元をお持ちのことと思います。町民の皆様からの意見・要望等に対して当日に各議員から回答していただいていたと思いますが、これをもって対応済みとするのか、それとも委員会に諮るのか、または議会として町に要望をするのか、あるいはこういう要望が出ていましたよということで通告をするのかということについて意見等の取扱いについてご協議をお願いしたいと考えています。
また、懇談会でいただいた意見及び議会の対応状況については令和7年、本年の5月発行の議会だよりにおいて町民の皆様にも周知するというのでいいかどうかの協議をしていきたいと思っています。最後の周知については5月の議会だよりでよろしいですね。
- （小笠原委員） はい。
- （梅森委員長） はい。まずその確認をしたいと思っています。
それでは内容の確認に入っていきますが、皆さんこの表（資料）をお持ちですか。既に今回全議員が同じ場所で同じ内容を聞いているということで意思の疎通はできていると思いますので早速入っていききたいと思います。今言ったように当日ほとんど各委員の方もしくは総務常任委員長、経済常

任委員長と各委員長が責任を持って対応して回答していただいたということがほとんどだと思うのですが、当日の対応で十分なのか、若しくはこの質問にあるように1件ずつ確認していくのか、いずれにしますか。

どちらかという町に対する要望が多かったのかなと私は個人的に考えていますが、議会でどう対応してほしいとかっていうのはあまり無かったのかなという気はしていますが、時間がありますので最初から確認していきますか。する必要はないという方はいらっしゃいますか。無ければこの表を中心に進めていきたいと思いますのでお開きください。

まず1ページ目のぬくもりセンターについていろいろ出ました。内容については読み上げることはしません。①については、これその後ですね町長の方から備考欄にあるように今後は支出状況等を公表しますということで精査して臨みたいというお話がありましたので、これをもっていいのかなという気はしますがいかがですか。何か話し合わなければいけないことはありますか。

- （内藤委員） すみません。
- （梅森委員長） はい。
- （内藤委員） これって町長、議会の中の答弁で公表するってはっきり言ったのでしたっけ。私の中では、はっきりそれを表明されなかったのではないかと。
- （三浦委員） 確か2月に公表するって言いませんでしたっけ。
- （梅森委員長） 公表するとは言っていますよ。いろいろご意見があって明らかにするし今後はそれぞれ精査して出る出ないについても公にしていきますよと。
- （三浦委員） 領収書までは言っていなかったけれども、確かそれに合わせて教育長の交際費も出すって、両方出すって言っていたので、それでもし出てこなかったらまた質問していく形になるのか。
- （梅森委員長） 公表しますということは、はっきりと言っていますよね。
- （木林局長） 今日、庁内会議がありまして、町長の交際費公表の関係が議案として載っていますので、公表するのではないかと思いますけれども。ちょっと議案審議をしてみないとわからないですが、いずれにしても公表に向けて動いていることは間違いのないと思いますので報告させていただきます。
- （内藤委員） この間の議会では、はっきりするって私は認識として言っていなかったなと思っていたので、
- （米川委員） はっきり言っていました。

- （梅森委員長） 言っていますよね。あと通常の監査業務もしているわけで。その中でもチェックはしてきているので何もしていないわけではないので、問題ないと思います。
- （内藤委員） すみません。ありがとうございます。
- （小笠原委員） はっきりしていないのは政治資金パーティに出るか、やるかやらないかははっきりしていないよ。
- （三浦委員） そこは精査するって。
- （小笠原委員） そこは精査するということだから、公表はするけれども俺たちは政治資金は必要ないと言っているけれども、町長の考え方は大局的にそれぞれ見た時にはという可能性もあると、公費で出すというニュアンスでしょ。出ないとは言っていない。
- （内藤委員） 精査するということ。
- （小笠原委員） 俺たちは、出てもいいけど自分の金で行けと。
- （内藤委員） そうですね、今ちょうど問題になっている。ありがとうございます。
- （梅森委員長） 町長も大分気にされているというか、皆さんの考えに沿うように考えているみたいですよ。いいですか。
無ければ②から④ですね。これはほとんどファンディングベースのことについてですが、これはどうしますかね。議会で取り上げてほしいという要望があるみたいなのですが、何か問題はありますか。監査を要望するか議会で取り上げてほしいというのが趣旨だったように思いますが。
- （小笠原委員） これも委員長、逃げ道があつてさ。協力隊が違う団体のところに行っているんだ、結局は。でもそれは、総務省の解釈は起業するにあたって準備期間としてそれぞれそういうところで修練を重ねるといふ形だからそれは問題が無いと総務省が言っているわけさ。でも実体論としては受け入れ側のあれだもんね。給料もらってやっているから。
- （梅森委員長） 申し訳ありません。今日はこの懇談会の内容についての取扱いで、個々のことについての皆さんのお考えを聞いていないので、
- （小笠原委員） いやいやそうではなくて、言ったらいいかいと言ったけどこれはできないのではないかいということを書いたかった。
- （梅森委員長） そうですか。

○（小笠原委員） 突っ込みようがないのではないですかと。

○（梅森委員長） そうですね。もし必要と考えるのであれば議員の方、個人個人で一般質問その他で明らかにしてもらえればいいということであって、では、これは問題ないということでもいいですね。

5番目の台湾派遣についても、これも以前から同じような質問であって説明をしているので特に問題ないですね。

6番目のエデュケーションフォーラムですか、これについても一応要望ということですが、個人的な考えもあると思うので議会对応で主催・後援の在り方についてどうこうっていう話にはならないと思うのですが、一応要望としては聞いていますが、議会として何か動かなければならないということにはならないと思うのですがいかがですか。

ご意見なければ7番目のみずばしょう園のことについては、これは皆さんご承知のとおり一般質問等で米川委員の方から質問をされていろいろ対応していただけるということがありますし、経済常任委員会の鳥越委員長の方から当日、次年度からきちんとしたチェック体制などを確認していくんだということで答弁をしているので、これで完結としたいと思うのですがいかがですか。よろしいですね。

次のページを開いていただいて8番目、除雪の問題ですね。追小のところ辺り、これについては担当である総務常任委員長の三浦さんの方から関係課に確認しますということでお答えしているので問題ないと思います。

また、9番目の移住者に対してもまだ来たばかりの方でよくわかっていないということで、小笠原委員の方からとりあえず自治会へ、まず参加してくれということで説明をして納得してもらっていると思いますので問題ないと思います。

10番目の議会の中継について、マイクの使い方については、先ほども言いましたが我々全議員が出ていますので、こういう意見が出たということでそれぞれ個人個人の議員の方が気を付けていただけるということでもいいのかなと思います。

11番目のことについては、これもまた同じでそれぞれあらかじめ備考欄に書いているように周知徹底を行っていきたいということで回答しているので、これでよろしいかと思います。

あと12番目の意見については、こういう意見が出たということで、経済常任委員会の担当になりますかね。そちらの方から通告というかこういう意見が出ていましたということで伝えていきたいというふうな形になると思うのですが、それはそれでいいですね。

○（鳥越委員） はい。

○（梅森委員長） はい。また13については、これまた例年同じようなご意見なので、町の管轄ではないのでと説明したつもりではありますけれども、扱いとして

はこれでよろしいですかね。

14 番目の太陽光、15 番目の P F A S についてはそれぞれ自治会の会長として高山さんの方から説明があつてちゃんと受け答えをしていると。あとは内藤さんの方からも農家関係の状況についての説明をしていただいて、その場で納得をしていただいていると思っておりますが、完結事案でよろしいですね。

16 については、以前からまた同じことですので特に問題はないと思います。追分地区について、ぬくもりセンターのやり取りで特にご意見があれば伺います。なければ3ページ目の、

○（内藤委員） はい。

○（梅森委員長） はい。

○（内藤委員） 私、今回の議事録読んで改めて思ったのですが、すごく不快な発言が多くて、個人的な話とかはここにそぐわないということで発言を止めるというか、そういうことはしていいのではないかって思ったのですよね。改めて読んですごい不快だったり、あと本当に嫌な気持ちになるみたいな。だから個人攻撃とかそういうことに関しては、そういう場ではないということを引きちんと言えばそれで済むのかなと思って、結構それで時間を使っちゃったりして逆に時間が勿体ないというか、今回はちょっと酷かったなと思いました。

○（梅森委員長） 次回からについては11番目にもありますが、あらかじめ周知徹底ということを引きちんと、議員懇談会がどういうものかということを理解してもらう形ではっきりと説明をしていかなければいけないのかなと思いました。また、今の意見は多分私に対するものだと思いますけれど、私司会やっていて勝手に止めるというのは立場的には、と思って言わせるだけ最後まで言ってもらいました。ただ、事実とは内容全然違うのですけれども、それはあとは私個人の問題なのでいいのかなとは思っています。

懇談会の進め方ということで今後そういうことであらかじめ当日についても周知徹底していく方向で考えていきたいと思っています。それでよろしいですね。他にありませんか。

○（高山委員） ありません。

○（梅森委員長） では3ページ目の早来学園についてですね。①については、これも高山さんの方から説明ありましたね。議運の方であらかじめどうのこうのということで、あとは個人の議員の方たちのことで被らない話をするとかで気を遣っていますよと。

あと2番目についても説明済みということで。

3番目については意見なのか多分個人の考えというか思いを述べてくれたところだと思います。これについて特に対応という話にはならないと思います。

4番目のアパートの家賃が高いとかについては、これ民間の関係ですので、議会でどうこうという話ではないけれども、補助金を使って建てているアパートマンションになるので、その補助金の使い方についてそれで良かったのかということにはなるかもしれないけれども、議会の中で家賃が高いとか安いについて云々言える立場ではないと思いますので、一応ご意見として伺いましたよということで完結と。

あとは最後に⑤ですね。早来学園についてということですが、まだできたばかりなので今のところはいいでしょうというアピールしている段階なのであと1年2年経った段階で、その良い悪いについての判断が出てくるでしょうという説明をしてご理解いただいたと思っていますので完結事案で良いと思います。早来学園について何かありますか。

なければ開いていただいて3番目の安平公民館について。アウサリ線については、これは20年ぐらい前ですかね、一旦そういう話が出たりして消えたものがまた再度要望が出されてきたということで、ある程度工藤議員の方から説明があったりして今の進捗状況についての説明をしているのでこれで終わりですとよろしいかと思えます。

3については少し長いのですが、これについての議会というかどちらかという町との対応についての問題であって、議会の方でどうこうということではないですが最後の締めとしてこういう形なので議会の方できちんと見てほしいということで話を持って行ったけれども、要するに個人的なご意見となったということで、これについては経済常任委員長の方から疑問その他については今後の対応ということで確認をしていきますよと、経済常任委員会の方でもちゃんと確認していきますというお答えをしていますのでそれでよろしいですね。

あとは4番目の地域おこし協力隊についてもいろいろありましたが、議会の中で小笠原さんからいろいろ確認事項として一覧表を貰ったりとかという形でいろいろやっているんで、それについてはあびらチャンネルその他で説明をしている部分もあるので、議会として特に何かをしなければいけないというふうにはならないと思いますが、ご意見として伺っているということですのでよろしいですか。

あと⑤の教育行政について、議会は監視をしてほしいということなのですが、我々議会はもともとチェック機関なので通常の業務で当然やっていることでこれからもしていきますので、それについてのご理解はいただいたと思っています。

あと6番目の市街化調整区域の見直し、農家住宅の空家ということでありましたが、これも経済常任委員長の鳥越さんの方からいろいろと確認をしていきますということでした。先ほど農業委員会の方で確認してきたのだけでも、形としては今ある空家に民間の方が借りて入ることについては問題ないそうです、特に。ただ農家の後継者でもないのに、農業従事者でもないのに農地に新たに家を建てるとなると農業委員会が物言う立場ではないけれども、建設課の方で許可が出ませんと。要するに目的外使用という形になっちゃうので、そういうお話でした。この利用については今言いましたけれども

経済常任委員長の方から相談をいろいろしていきたいですという話はあったので、これはこれでよろしいですね。

次は7番目のファンディングベースについてですね。これもちょっと難しい問題になるかもしれませんが総務の常任委員長の方から説明がありました。補助金についてどうこうは確認できるけれども、その内容とかなんぼ儲けたとかという話はなかなか難しいのかなという説明がされて、特別監査をしてほしいみたいな形になったのだけれども、これについても総務常任委員長の方から代監などと相談をして特別監査をやっていきますと言ったのかな。

- （木林局長） これは監査委員です。
- （三浦委員） これは監査委員さんが、上段は私が言いましたけれども。
- （梅森委員長） ここは小笠原さんの方からですかね。ということで、ちゃんと現場でお答えしているのでこれはこれでよろしいですね。
8番目の旧安平小学校の活用についても意見がありました。体育館を避難所として確保してほしいとかということで、安平地区の活性化委員会ですか。あれ内藤さんがいて、
- （内藤委員） 協議会で3月3日だったかで住民説明会をすることになっている。
- （梅森委員長） 3月3日ですね。その時にこういう意見が出ていたということで、ご紹介していただければいいのかなというふうに思っています。よろしく願いします。とりあえず安平地区で何かありますか。
なければ4番目の遠浅公民館を見ていきたいと思います。道路の整備ですね、排水整備その他の受け入れというということで、これについても経済常任委員長の方から回答しているので問題は無いですね。
あと②と③については要するに戸数が減っていくということで自治会活動に支障が出ているということでご意見がありましたが、そういうお話は聞いておくということで、あとは各委員の方それぞれ対応できる方は対応していくということでよろしいかなと思います。
あと④についてはラピダスの関係ですが。これについては私も聞きましたが地域説明会その他でちゃんとやっていますので問題ないのかなと思っています。
⑤のノーザンファームの自治会については、これは一企業の、数は多いのですがそれが自治会として扱うのか、ノーザンにしてみれば自分の会社のことなので自分の会社でちゃんとやっているからいいんだって言われればそれでいいと思うのですが、特にノーザンの方から発言があったわけではないので、成り行きを見るしかないですかね。源武地区の自治会となると本当の昔からの農村地区で、戸数は少ないけれども昔から仲良くやっているのですその括りでいいんだという意見が強いみたいです。一緒にやろうという話も出たことはあるみ

ただ、結局はノーザンはノーザンでしょということ。

- （内藤委員） 前に私も聞いたことがあるのですが、遠浅でやっているお祭りに源武の子たちも参加してくれるのだけど何か自治会じゃないから何だかなあみたいなの、やる側としての自治会じゃないのに来るなとも言えないし、でも参加はしてほしいからそのところ何とかならないのかなみたいな話を、何でしたっけ遠浅でやっているやつ。
- （梅森委員長） グリーンフェスティバル。
- （内藤委員） その時の話をされていました。
- （梅森委員長） 昔からノーザンの人も参加しているけどね、グリーンフェスティバルはね。実行委員会にはいないかもしれないけど。ノーザンの人はいないけどノーザンで遠浅のアイリスタウンに住んでいる人がいるので、そういう方たちは一生懸命やってくれているのだけど、じゃあノーザンの独身寮にいる方が来るかといったらあまりないかもしれない。そういう交流はないかもしれないけれど。
- （内藤委員） でも、向こうにも子どもたちはたくさん住んでいるので、多分そういうことなのだと思うのですよね。参加はしてほしいけど自治会ではないんだよなあみたいなの。その辺の話を前にされていました。でも、私に言われてもどうにもできないから聞くだけ聞いて。
- （梅森委員長） 地域のことなので議会でどうこうという話ではないので、+地元の方たちとよく話し合ってくださいということでしょうね。
6番目については遠浅地区に議員がいないだとか、7番目のイベント関係だけれども、これについても私たちがどうこういう立場ではない、そういう考えがあるのかなという気はするだけですよ。
あと学校統合についていろいろとありますが、これについてもなかなか難しいところだとは思いますが、今後の教育行政を見守っていくということしかできないと思うのですよね。
あと早来学園の女子更衣室というのが狭いというのも、これ議会に対する、先ほどから言っていますけど町に対する要望ということになるので、もし必要であると考えるのであれば総務常任委員会の方を通じて、何点か今までもあったと思いますけどまとめてこういう意見要望が出ていましたよということを経済と総務で各関係課に通告をしてもらうというか、
- （三浦委員） それが一番順当かもしれない。
- （梅森委員長） そういうことでよろしいかと思うのですが、いいですか。

- （高山委員） いいですよ。
- （梅森委員長） ちょっと早口で申し訳なかったですがずっと行きました。全体を通じて何かありますか。なければ内容についての対応については今のことでいいかなと思います。先ほども言いましたが、この結果報告については5月の議会だよりにおいて町民に周知徹底をするということになります。
- それでは(2)の令和7年度の懇談会に向けた改善点についてということで、いろいろあると思います。今回は全議員が出席した。今までと同じように4か所、ちょっと忙しい思いはしたけれども4か所で実施したということで、これについてはどうですかね。私的には全員が出ているので経済も総務も両方の委員長が出ているし、町民からのことについてもある程度こまめに回答ができたので良かったのかなと思っていますけど。
- （三浦委員） 参加された方も良かったっておっしゃっていました。
- （梅森委員長） そうですね。あとは参加人員のばらつきがあった、総体的には少なかった。これは例年の課題なのでなかなか難しいかもしれないけれども、まず全議員が一度に出たということの方が良かったと思うのですが、その点についてはどうですか。
- （箱崎委員） やっぱり良かったと思いますね。お互いにこれどういう意味ということはないだろうし。
- （梅森委員長） 答える側も全議員がいるので、きちんと対応できたのかなという気はします。ただ出席者より議員の方が多い場所もあったので、それについてはいろいろご意見があるかもしれませんが、それについては今後ということですね。
- あと私委員長なのであえて問いかけをしたいのですが、いつも来てくれる方は同じような方で、先ほど内藤さんの方からもあったけれども個人的な意見を言いたくて来る人、誹謗中傷だとかも含めて、そういうような方とか同じ人が何か所も来るとか、1か所だけでなくてね。そういうような状況はどうなのかなと思ったりしています。
- あと今回の意見・要望ありましたけど半分ぐらいは毎回同じようなことで、同じ顔ぶれで同じ内容の繰り返しもどうなのかなと。極端に言うと議員懇談会というのは必要無いのかなと。そういう考えもちょっとしています。事務局に確認していただきましたら胆振西部の方ではもうやっていないそうです。そういう流れになっているのかなと。ただ、これは議会基本条例の第6条の情報公開ということで明示されていて、その中で議員懇談会ということで位置付けて実施はしてきているのですよね。第6条には議会は審議の内容及び各議員の対応について議会広報等を通じ、情報の公開をするとともに議会報告会などや町民の要望に応じて出前説明会いわゆる出前トークなどを開催し十分な説明を行うものとなっていて、今もうネット社会にな

ってきていろんな意見それぞれについても役場やその他で、ていあんくんが
あったり議会事務局に直にいろいろ要望とか意見が寄せられている状況があ
りますので、あえて議会懇談会というものを開催する必要があるのかなとい
う疑問を私は持っています。皆さんのお考えはどうですかね。

○（小笠原委員） いや、これはやっぱりやるべきだよ。人が来るとか来ないとか問
題ではないですよ。人が来ないということがどういうふうに我々議員として捉
えていくのかと。私はあまり人が来ないというのは、それぞれの議員が信頼さ
れているのかなと良い方に解釈していますよ。恐らく何か問題があれば争点
が出ればたくさん人が来ます。今それほど問題点がないから、ある意味皆さん
方が信頼されているからそれなりの人数しか来ないのかなという面もありま
すし。あとは委員長も頭にくるけれども言いたい人はいるのだから言わせてお
けばしゃあないでしょ。言いたいものだから。来るなど言ったらまた大変なこ
とになるし。

○（梅森委員長） 先ほど内藤さんが言ったように最初にきちんと理解していただ
けるように議会側として努力しなければいけないということはあるかもしれな
いですよ。じゃあこれからも続けていくということで、私あえて止めようか
という話をさせてもらったのですが、議会基本条例にもちゃんと書かれている
ことですし、そうやってきているので、ただ一つ確認しておきたいのは、今日
決定する必要はないのですが、また来年度も行うってことになるのと全議員が
一緒に出席するという点については皆さん賛成していただいているというこ
とでよろしいですかね。あとは日にちとか場所のセッティングについてはいろ
いろ皆さんご意見あると思うのですが、町政懇談会についても年1回になりま
したよね、2回だったのがね。議員懇談会の4か所でやるというのも逆に、だ
からこそ4か所でこまめに分けてやった方がいいと思う方と集約して例えば
1か所でいいのではないかとか2か所でやればいいのではないかといろいろ
話はあると思うのですが、その点についてはどういう方向で考えていきます
かね。

○（高山委員） 私の意見は従来型というか今の現行型で地域に根差された地域の
意見を組み入れていくという、これは人数のどうのこうのという話ではなくて
話をそこで住民としていくという大事な接点が、確かに時間とか日にちの設
定はかなりその状態によって来られる時期と来られない時期、寒ければ来ない
し天気悪かったら来ないしっていうのが当然出てくるかもしれないけど、今
までやってきてまだこの馴染みが薄いという感覚があるかもしれないけど地道
な努力はこれから先も不満はあるけれどもお互いにこれは不満が多分あるの
だろうと。住民と議会側もこういう人数が少なかったらという意見があるの
かもしれないけど、これは地道な活動として、議員としてまだまだこれは続
けていく必要があるのではないかと私個人的には思います。

○（梅森委員長） わかりました。

- （三浦委員） 都合の良い会場に来られる場合もあるので、車とか乗れる人は例えばこの日のこの時間なら来られるとって地域じゃないところにくることもあるから。それはそれで間口を広げるという意味では。やる方は大変かもしれないけど。
- （梅森委員長） じゃあ来年の方向としては全議員が出るということで、あと4地区でやることの意義があるのだということ、あと今日1日に2か所やってたんですけど体力的に大丈夫でしたか。全員出るので4か所で4日間出ると言うよりは良かったのかなと思っていますけど、あと時間的についても昼からやったのだけでも、例えば極端に言えば午前中と夜やりますかという方法もあるかもしれないけど。どうですかね皆さんの感覚としては。
- （高山委員） 2日で4か所という設定でいくと続けてやった方がいいのかちょっと空けてやった方がいいのかというのちょっとあるのかなっていう気はしなくてもないけど、日程の調整の関係があるから2日間で4か所やってしましょというこの昼夜昼夜という形がベターなのどうかと言われたらやっぱりちょっと考えた方がいいのかなという気はしなくてもない。
- （梅森委員長） あまり午前中と夜となると、時間空いてしまうとそれぞれの行動パターンというか行ったり来たりするのが大変なので、今回昼からにしてもらったのは1か所終わったらちょっと時間が空いてまた次ということで連続してできたので、これまた追分の方が1回帰って遠浅までまた出てくるとなると大変なので。時間的なあれから見ていくと今回のぐらいがちょうどいいのかなと思っていますけどね。
- （三浦委員） 2日間頑張れば何とかなる。
- （梅森委員長） あと開催時期についても秋というか年末かということで。皆さんご存知のとおりちょうど予算算定期間とかと重なってくるのでいろんな要望その他については新年度予算に上げていくにはいいタイミングなのかなという気はしていますけれども。それでも、もう4月5月にパッパッとやってしまうというのものもあるけれども。
- （鳥越委員） 以前はあの時期に決めたのは、冬に決めたのは農家の議員さんも多かったの。それでやっぱりなかなか仕事の忙しいというのあって落ち着いてから、参加される方も農家の方が多いからということもあってなのですよ。そこを考えないのであれば他の時期でも、冬道とかあまり気にしないで出て来られる参加者もいるのかなと思います。2日間でやるのであればその時期のタイミングでやってもいいのかなと。
- （梅森委員長） 春やるって言っても改選期とかと重なっちゃうからね。

- （鳥越委員） 春あれですけれども、夏を越えた10月までにやるとか、どうしても11月と違ってならなくてもその辺りで。
- （梅森委員長） 今まで十何年間やってきてその時期になったので、それぞれ理由があるのでしょうかね。
- （鳥越委員） あまり定着はしていないかもしれませんが。
- （小笠原委員） どの時期選んでも賛否両論あるから。こう言ったらこうでないってのがあから、まあそれは決断の一つとしてやるしかないのではないの。
- （箱崎委員） 事務局が用意してくれたこの平成20年度から見ても時期がまばらというか。
- （三浦委員） バラバラだもんね。
- （箱崎委員） 夏もあれば冬もある。あとは2月にしたからって農家の人がそんなたくさん来たかという。
- （小笠原委員） 来ないって。
- （鳥越委員） そうであれば暖かい時期とか。
- （梅森委員長） ちょっと整理しますけど、今日ガチガチに決めなくてもいいので、とりあえず1回開催ということは原則としてこれからも必要ですよと、4か所でやるべき理由がありますよということですね。あと全議員が出席するというのは今回の良好点ということでそれぞれよろしいと思います。そういう方向付けを進めていくという。また、開催時期については新年度になってからまだ時間がありますので決めていきたいと思います。
- （箱崎委員） あとはあれですか。事務局的に今回の2日連続で4か所というのはどうなのですか。事務的な負担って。
- （木林局長） 事務局は2人いるので交代交代。
- （箱崎委員） 一気に終わらせた方がいいのでしょうかね。
- （木林局長） 長ければ長いでもたあるし、集中すれば集中したでいいというか。仕事量は変わらないので。
- （梅森委員長） そんなことでいいですか。せっかくの機会ですので他に何かあり

ますか。なければ第12回の議会改革調査特別委員会についてはこれで終了と
します。スピーディな議事運行にご協力いただきありがとうございました。以
上をもって終わります。

○（一同） お疲れ様でした。

閉会 午前10時31分

会議の経過を記録してその相違ない事を証する為、安平町議会委員会条例第26条
第1項の規定に基づき、ここに署名する。

令和 年 月 日

委員長 _____

副委員長 _____